

明治

明治41年 7月	芝区二本榎町二丁目15番地に第二消防署（現芝消防署）二本榎派出所として発足する。
----------	--

大正

大正13年 9月	芝区三田二丁目2番地三田出張所は、第二消防署三田分署となり二本榎派出所は同署に属する。
大正15年 7月	三田分署は御田消防署に昇格。二本榎派出所は高輪出張所に改称する。

昭和

昭和8年 12月	高輪出張所は高輪消防署に昇格。御田消防署は御田出張所に改称し同署に属する。
昭和14年 3月	御田出張所は芝消防署へ所属替えする。
昭和17年 7月	芝区白金三光町173番地に三光出張所を設置する。
12月	芝区高浜町10番地に高浜派出所を設置する。
昭和19年 1月	芝区老増町2番地に志田町派出所を設置し、高浜派出所は高浜出張所に改称する。
昭和22年 3月	志田町派出所は志田町出張所に改称する。
12月	高輪消防団が3個分団をもって創設する。
昭和23年10月	消防地区隊制に伴い高輪消防署及び三光、志田町両出張所は麻布消防署へ、高浜出張所は品川消防署へ所属替えし消防所に改称する。
昭和26年 3月	規則制定に伴い高輪消防所は高輪消防署に昇格し、三光、志田町及び高浜消防所は高輪消防署へ所属替え、高輪消防署に救急車（レッカー車）が配置され運用開始する。
昭和28年 3月	各消防所は出張所に改称する。
昭和29年 1月	高浜出張所は防火造2階建に改築落成する。
昭和34年10月	高輪消防署に救急車が配置され運用開始する。
昭和38年 5月	志田町出張所は、耐火造2階建に改築落成する。
昭和39年 3月	高輪消防署配置の救急車は大井消防署へ配置替えする。
昭和40年 3月	高浜出張所は港区港南二丁目7番16号に住居表示変更する。
8月	高浜出張所に救急車が配置され運用開始する。
11月	高浜出張所は港南出張所に改称する。
昭和42年 3月	高輪消防署に広報車が配置され運用開始する。
11月	高輪消防署は港区高輪二丁目6番17号に住居表示を変更する。
昭和44年 3月	三光出張所は耐火造2階建に改築落成する。
4月	三光出張所は港区白金五丁目12番11号に、志田町出張所は港区白金一丁目28番13号に住居表示を変更する。
10月	高輪消防団3個分団を4個分団に編成替えする。
昭和45年 3月	港南出張所に消防車（ポンプ車）が増強されて運用開始する。
8月	三光出張所に消防車（化学車）が増強されて運用開始する。
昭和47年10月	三部制勤務を実施する。
昭和48年 4月	東京消防庁消防組織の整備に伴い準二級事業所に昇格する。
8月	初めて女性消防官3名を配置する。
昭和49年 4月	東京消防庁消防組織整備に伴い二級事業所に昇格する。（配置人員227名） 高輪消防署にはし子車が配置され運用開始する。
昭和50年12月	高輪消防署に人員輸送車（高輪SQ）が配置され運用開始する。
昭和51年 7月	高輪消防署管内焼死者ゼロ2,000日（7月9日）を達成し、消防総監賞を受賞する。（昭和46年1月17日車両火災による焼死者2名以来、昭和51年12月30日の建物火災による焼死者まで2,173日を記録し終止符を打つ。）
昭和53年 3月	本署の救急隊は志田町出張所へ、三光出張所配置の化学車は港南出張所へ各々配置替えする。
昭和54年 2月	高輪消防署配置の水槽付ポンプ車は矢口消防署へ配置替えとなり、職員12名が他所属に転出する。 高輪消防署管内焼失面積ゼロの年間記録を達成する。
昭和54年12月	（昭和53年11月17日の建物火災以来、昭和55年3月29日の建物火災まで497日を記録する。）
昭和55年 4月	高輪消防署に救助先行車が配置され運用開始する。
昭和56年 3月	高輪消防署に指揮車並びに港南出張所に化学車が配置され運用開始する。

昭和 57 年	2 月	高輪消防署にポンプ車が配置され運用開始する。 従来のポンプ車は三光予備車となり旧ポンプ車は廃車となる。
昭和 58 年	3 月	高輪消防署新庁舎が港区白金二丁目 250 番 1 号で着工する。
	12 月	高輪消防団第 1 分団防災資器材格納庫が高輪 2-20-29（地番高輪 2-82-48）に増設する。 高輪消防署が出張所から昇格して 50 周年目となる。
昭和 59 年	10 月	高輪消防署本署が港区白金二丁目 4 番 12 号に新築し事務を開始する。志田町出張所は廃止し、従来の本署は二本榎出張所に改称する。
	11 月	二本榎出張所にポンプ車が配置され運用開始する。 従来のポンプ車は予備車となり、旧予備車は廃車となる。
昭和 60 年	2 月	高輪消防署に救急が配置され運用開始する。 従来の救急車は港南出張所へ、港南出張所の救急車は消防学校に配置替えとなる。
	3 月	二本榎出張所が庁舎改築され、装いも新たに事務を開始する。
	4 月	高輪消防署に広報車が配置され運用開始する。
昭和 61 年	8 月	二本榎出張所に空気補給隊が人形町出張所から配置替えされ運用開始し二本榎 1 と切り替え運用する。
	9 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 1, 000 日（9 月 16 日）を達成する。
	12 月	三光出張所にポンプ車が配置され従来のポンプ車は予備車となり旧予備車を廃車となる。
昭和 62 年	1 月	三光出張所に小型ポンプ車が配置され従来の小型ポンプ車は西新井消防署に配置替えとなる。
	6 月	二本榎出張所に土砂排出ポンプ装置（ジェットポンプ）が配置され運用開始する。
	9 月	港南出張所の庁舎改築工事を着工する。
昭和 63 年	1 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 1, 500 日（1 月 29 日）を達成する。
	9 月	港南出張所新庁舎（港区港南 5-8-34）で事務開始する。 舟艇隊 2 艇が臨港消防署竹芝出張所より配置替えし運用開始する。
	12 月	予備車（三光配置）が臨港消防署より配置替えされ、旧予備車は廃車となる。

平成

平成元年	6 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 2, 000 日（6 月 12 日）を達成する。
平成 2 年	2 月	予備救急車（港南配置）が品川消防署から配置替えされ、旧予備救急車は廃車となる。 高輪消防署にポンプ車が配置となり運用開始する。従来のポンプ車は芝消防署へ配置替えとなる。
	4 月	予備車（港南配置）が有楽町出張所より配置替えされ、旧予備車は廃車となる。
	10 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 2, 500 日（10 月 25 日）を達成する。 高輪消防署に救急車が配置され運用開始する。 従来の救急車は目黒消防署へ配置替えとなる。
平成 3 年	2 月	高輪消防署に救助先行車（S02086）が配置され運用開始し旧救助先行車は廃車となる。 港南出張所にポンプ車（Y02136）が配置され運用開始し、旧ポンプ車は廃車となる。
平成 3 年	3 月	高輪消防署に査察広報車（Y02072）が配置され運用開始し旧第 1 査察広報車は廃車となる。
		二本榎出張所庁舎の内装工事を実施する。
平成 3 年	4 月	二本榎出張所に目黒消防署から化学車（C60118）が配置替えとなり、運用開始し、旧化学車は廃車となる。
平成 4 年	3 月	高輪消防署に査察広報車（Y03058）が配置され、運用開始し、旧第 2 査察広報車は廃車となる。
		港南出張所に新消防艇「かちどき」が配置され運用開始し、旧消防艇は廃船する。
平成 4 年	4 月	港南出張所に大森消防署から第 2 線救急車（A59098）が配置替えとなり、運用開始し旧第 2 線救急車（A57011）は廃車となる。
平成 4 年	12 月	高輪救急隊が高度処置救急隊として運用開始する。
平成 5 年	4 月	港南出張所に新消防艇「ありあけ」が配置され運用開始し旧消防艇は廃船となる。
	6 月	港南救急隊が高度処置救急隊として運用開始する。
	7 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 3, 500 日（7 月 21 日）を達成する。
	12 月	高輪消防署管内焼死者ゼロ 10 年（12 月 21 日）を達成する。
平成 6 年	2 月	三光出張所改装並びに望楼を撤去する。

	3月	高輪消防署開署60周年記念式典、高輪消防署管内焼死者ゼロ10年の達成記念式典を実施する。
平成6年	4月	高輪消防署に資材輸送車（ロボキュー）が配置され、高輪1と切り替え運用開始（5月1日）する。
	12月	三光出張所庁舎改修工事で装いも新たに作る。
		高輪消防署管内焼死者ゼロ4,000日（12月3日）を達成する。
平成7年	3月	阪神大震災支援隊として出場する。
		消防待機寮（港南寮）が閉寮する。
平成7年	8月	三光出張所に小型ポンプ車が配置され運用開始する。
		二本榎出張所に防火冷却ベストが配置され運用開始する。
	11月	高輪消防署庁舎の内装等塗装工事を実施する。
	12月	高輪消防署管内焼死者ゼロの連続記録12年（12月21日）を達成する。
平成8年	1月	二本榎化学車が最新装備をした搭載した新車両に、また、高輪救急車が高規格車両に更新される。
		災害時支援ボランティア結団式を挙行する。
平成8年	6月	港区白金六丁目の部分焼火災において、焼死者1名が発生し、焼死者ゼロは4,559日で記録に終止符を打つ。
	11月	港南出張所護岸改修工事を実施する。
	12月	二本榎出張所改修工事を実施する。
平成9年	2月	長野県小谷村土石流災害現場に二本榎資材、人員輸送車が派遣され、救助活動を支援する。
		二本榎出張所に給食車が飯倉出張所から配置替えされ運用開始する。旧資材輸送車は廃車となる。
	7月	東京湾原油タンカー・ダイヤモンドグレース号座礁原油流出事故に伴う消防特別警戒及び「かちどき」、「ありあけ」による流出防止活動、海上での警戒を実施する。
平成9年	10月	消防団河搬ポンプ等搬送車が配置され運用開始する。
		可搬式消火器具（インパルス）を配置する。
	11月	防火協会・消防団創設50周年に伴い、記念誌「50年のあゆみ」を発刊する。
平成10年	3月	三光出張所に水槽付き小型ポンプ車を更新し運用開始する。
	7月	交通事故ゼロ3,000日（7月5日）を達成する。
平成11年	1月	港南出張所に震災対策を踏まえた10t水槽車が配置される。
	2月	高輪1小隊が新車両に更新される。
	3月	高輪梯子小隊が15年ぶりに新車両に更新される。
		傷病者の早期救護を目的として、ポンプ小隊と救急小隊が同時に出場する「PA連携活動」の試行を開始する。
平成11年	8月	9月11日のPA連携活動において、高輪1部救急小隊及び二本榎1部化学小隊が方面内第1号の方面本部長賞を受賞する。
		8月29日夕刻、管内全域に集中豪雨があり、27件の都市型水災が発生し水防活動に従事した。（古川周辺、床上浸水531棟）
	12月	コンピューター西暦2,000年問題に対処するため、Y2K消防特別警戒を実施する。
平成12年	1月	港南救急小隊が新車両に更新される。
	2月	港南1小隊が新車両に更新される。
	3月	平成11年業務実績優秀で消防総監賞を受賞する。
	4月	PA連携活動運用を開始する。（平成11年8月25日からPA連携活動が試行され、ファイアー・クイック・エイドの愛称で運用開始）
		港南出張所の小型動力ポンプ付10t水槽車署隊選択運用が開始される。
平成13年	11月	高輪救急小隊が新車両に更新される。
平成14年	2月	高輪消防署の改装を実施する。
	3月	防災教室及び会議室を警防課事務室として事務開始する。
		高輪指揮隊が新車両に更新される。
		高輪1小隊が新車両（水槽付小型ポンプ車）に更新され、旧高輪1小隊は、二本榎1小隊に配置替えとなり運用開始される。
平成15年	3月	高輪第1、第3広報車が、新車両に更新される。
		高輪消防署3階に消防団本部室を設置する。
	10月	第一分団可搬ポンプ等積載車として緊急車両に改造され運用開始される。
	11月	高輪第2広報車が、新車両に更新される。

平成 1 6 年	2 月	港南出張所 3 階防災教室に第 4 分団本部室を併設する。
	9 月	三光出張所の改修工事を実施する。
	1 2 月	港南救急小隊が新車両に更新される。 従来の救急車は高輪非常用救急に配置替えとなる。
平成 1 7 年	4 月	三光 1 小隊が新車両に更新される。
	8 月	港南 2 小隊（水槽付ポンプ車）が丸の内消防署より配置替えとなる。
	1 2 月	高輪 1 小隊が高輪 2 小隊に名称変更し、港南 1 小隊が高輪 1 小隊に配置替えとなり、三光 2 小隊は三光 1 小隊との切り替え運用となる。港南 2 小隊は港南 1 小隊に名称変更となる。 高輪非常用救急が丸の内消防署から配置替えとなる。
平成 1 8 年	2 月	人員輸送車（赤色）が更新される。
	8 月	高輪 2 小隊、高輪 1 小隊が高輪特別消火中隊として、運用開始される。
	1 2 月	高輪救急小隊が新車両に更新される。
平成 1 9 年	3 月	二本榎補給小隊が新車両に更新される。
	4 月	地域の特性に対応した出場体制の強化が運用開始される。
平成 2 0 年	3 月	消防・救急デジタル無線が運用開始される。
	4 月	三光出張所に都民防災アドバイザーが配置される。
	6 月	第二分団本部が、白金台五丁目 1 9 番 1 号港区防災倉庫併設の新設格納庫へ移転し運用開始される。
	9 月	二本榎出張所の改修工事を実施する。
	1 2 月	本署玄関に、A E D 設置される。
平成 2 1 年	3 月	三光 1 小隊、二本榎 1 小隊が新車両に更新される。 港南出張所の護岸工事を実施する。
	3 月	二本榎出張所の改修工事を実施し、夜間広報設備を設置する。 第二分団可搬ポンプ積載車配置、高輪消防団 2 台目となる可搬ポンプ積載車を第二分団本部長格納庫に配置され運用開始される。
	1 1 月	高輪非常用救急車が廃止となり、玉川消防署より配置替えとなった救急車が高輪非常用救急車として運用開始される。
	1 2 月	林野火災における高輪消防団可搬ポンプ積載車の使用に関する申し合せ書高輪消防署が方面応援隊として出場時、第一分団積載車を借用することを高輪消防署長と高輪消防団長で申し合わせを取り交わされる。
	1 2 月	二本榎出張所の庁舎が東京都選定歴史的建造物に選定される。
平成 2 2 年	1 1 月	高輪 1 小隊が新車両に更新される。
	1 2 月	港南救急小隊が新車両に更新される。
	1 2 月	港南救急小隊が新車両に更新される。
平成 2 3 年	2 月	本署の外壁改修工事を実施する。 港南 1 小隊、二本榎化学小隊が新車両に更新される。
	3 月	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊として派遣される。 第一分団可搬ポンプ積載車が更新され運用開始される。
	4 月	第三分団本部が、白金三丁目 2 番 2 号に新築移転し運用開始される。
	4 月	原動機付自転車 5 台が配置される。
	4 月	高輪非常用ポンプ 2 が廃止となり、目黒消防署より配置替えとなったポンプ車が高輪非常用ポンプ 2 として運用開始される。
平成 2 4 年	1 月	高輪非常用ポンプ 2 が廃止となり、目黒消防署より配置替えとなったポンプ車が高輪非常用ポンプ 2 として運用開始される。
	2 月	高輪救急小隊が新車両に更新される。 署隊本部の間取りが変更される。 救急寝室が一階に新設される。
	3 月	二本榎出張所に車庫棟が新設される。 高輪救急小隊旧車両は高輪非常用救急車として運用開始される。 高輪非常用ポンプ 1 が廃止となり、田園調布消防署より配置替えとなったポンプ車が高輪非常用ポンプ 1 として運用開始される。
	4 月	特別消火中隊は、高輪中隊が解除され三光 1 小隊が新たに特別消火中隊として運用開始となる。
	9 月	港南出張所に監視カメラ 5 台が新設される。
平成 2 4 年	1 0 月	高輪 2 小隊が新車両に更新される。
	1 1 月	火災による死者ゼロ 1, 0 0 0 日（1 1 月 4 日）を達成する。
	1 1 月	火災による死者ゼロ 1, 0 0 0 日（1 1 月 4 日）を達成する。
平成 2 5 年	3 月	高輪指揮隊が新車両に更新され、高輪はしご小隊が水管付き新車両に更新される。

	4月	高輪消防団第3分団可搬ポンプ積載車が配置、運用開始される。
	10月	二本榎出張所に五十年ぶりに国産第一号消防車(日産180型ポンプ自動車)が里帰りする。
	11月	二本榎出張所及び周辺地域において高輪消防署八十周年記念祭が5000人以上の来場により盛大に実施される。(11月2日)
	12月	高輪消防署80周年を迎える。(12月28日)
平成26年	1月	予備救急車(本署配置)が渋谷消防署から配置替えされ、旧予備救急車は廃車となる。
	2月	本署4階体育訓練室のエアコンを更新、本署2階事務室に天井付エアコンが増設される。
		高輪非常用ポンプ車(三光配置)が芝消防署から配置替えされ、旧高輪非常用ポンプ車は廃車となる。
		高輪第二広報車が新車両に更新される。
	3月	本署の内装、2階トイレ改修等、大規模改修工事を実施する。
		火災による死者ゼロ1,500日を達成する。(3月19日)
	12月	高輪非常用ポンプ車(三光配置)が装備工場非常用ポンプと配置替えとなる。
平成27年	1月	高輪非常用ポンプ車(港南配置)が目黒消防署(八雲2)から配置替えされ、旧高輪非常用ポンプ車は海外へ譲渡される。
	2月	港南救急車が臨港(月島A)から配置替えされ、高輪非常用救急車となり、非常用救急車が廃車となる。高輪第一広報車が新車両に更新される。
	3月	港南第二舟艇「かちどき」が新艇更新となる。
	11月	港南救急車が新車両に更新され、旧港南救急車が品川へ配置換えとなる。
平成28年	2月	高輪第3広報車が新車両に更新される。
	4月	高輪、港南救急隊が英語対応救急隊として運用が開始される。
	10月	高輪救急車が新車両に更新され、旧高輪救急車が高輪非常用救急車となり、旧非常用救急車が廃車となる。
	12月	港南第一舟艇「ありあけ」が新艇更新となる。
平成29年	3月	二本榎出張所外壁工事が完了する。
	5月	高輪非常用ポンプ車(三光配置)が深川消防署(深川1)から配置替えされ、旧高輪非常用ポンプ車は廃車となる。
平成30年	8月	港南出張所の改修工事を実施し、寝室にエアコン2台が新設される。
	11月	火災による死者ゼロの日、1,500日達成(11月26日)
平成31年	2月	二本榎1が新車両に更新され、旧二本榎1が渋谷非常用ポンプ車として配置換えとなる。

令和

令和元年	5月	三光1が新車両に更新され、旧三光1が高輪非常用ポンプ車(三光配置)として配置換えとなる。
	6月	高輪非常用ポンプ車(港南配置)が廃車となり、旧高輪非常用ポンプ車(三光配置)が高輪非常用ポンプ車(港南配置)として配置換えとなる
	10月	高輪非常用救急車を公益社団法人東京都医師会へ譲渡、引き渡される。
令和2年	3月	高輪オリパラ用救急車が配置される。
	4月	火災による死者ゼロの日2,000日達成(4月9日)
	6月	高輪非常用ポンプ車(港南配置)が蒲田消防署(蒲田1)から配置換えとなる。
	10月	二本榎化学小隊、二本榎1小隊が二本榎特別消火中隊として、運用開始(10月19日)
令和3年	2月	高輪人員輸送車が新車両に更新され、旧高輪人員輸送車が廃車となる。
	3月	高輪補給車が新車両に更新され、旧高輪補給車が廃車となる。